



## 『給食番長：山口弁版』 好学社

作・絵：よしながこうたく／翻訳：山口市立図書館

### 【01】

キーン コ～ン カーン コ～ン

わんぱく小学校の 給食の時間が はじまりました。

### 【02】

どかん！ばしゃん！

「うまいシチューは、オレにくれー！」

「きゃあ、番長やめてえや」

### 【03】

「よしっ、みんな嫌いなものなんか残して、さっさと遊びに行こうやあー！！せいじ、はようしんさい！まさお、グズグズしちよったら おいていくけえね」

「うわーい。待ってえね、番長さ～ん。まさお、はようして！」

「ええいっ！野菜なんか嫌いじゃけえ、ぼくも残しちゃう」

「ぼ～くも」

「じゃ、わたしも～」

1年2組は いつも おおさわぎ。

入学以来 まだ一度も 給食をちゃんと食べていません。

### 【04】

みんなが お昼休みで遊びにいったころ、給食室では おばちゃんたちが 肩をよせて泣いていました。

「うっうっ、1年2組は またこんなに残しちよる...」  
「もう、これで 3ヶ月ずっとじゃねえ」  
「番長って 呼ばれちよる子が みんなをそそのかしちよるって...」  
「その子を なんとかせんにゃあね」

【05】

つぎの日の給食の時間、ついに怒った 給食のおばちゃんたちは 1年2組の教室に のりこみしました。

「こらあっ！あんたが番長じゃね！ちゃんとすわって食べんさい！！」  
「へっへへ～ん。いやじゃ。オレ 牛乳もパンも すかんもん！」  
番長は、ひとつもいうことを聞きません。  
「待ちんさいっ、残したら もったいないじゃる！」  
「こんな給食なんて ぜんぶ食べちゃるもんか～」

【06】

1年2組は、その日も ようけ給食を 残しました。

「へっへへ。ほいじゃあ かたづけもすんだけえ、遊びにいーこおっと」  
「もう、なにを言うても ダメなんかねえ...」  
給食のおばちゃんたちの目から おおつぶの涙が あふれだしました。  
そして そのつぎの日・・・

【07】

キーン コ～ン カーン コ～ン  
いつものように 給食の時間が やってきました。  
でも 給食室のまえで みんながさわいでいます。  
「なんじゃ！？せいじ、なにがあったん？」  
「番長さん、あれみて！給食のおばちゃんたちが いえでしてしもうたんよお...」  
給食のおばちゃんたちがおらんと みんなのお昼は のうなってしまうます。  
「あ～～ん」「びえええ～～～ん」  
「番長が“嫌いなもんなんか残しいい”いうから、おばちゃんたち 怒ってしもうたじゃん！」  
「番長、どうするんよ！」  
「あやまってきてーや、番長！」  
「なんとかしいよ、番長！」  
「番長！」「番長！！」

【08】

みんなが怒りだしました。

でも番長は自信满满。

「ふっふん。だ～いじょうぶ、まかせちょけって！給食くらい、オしたちだけでつくっちゃるけえ。いくぜ、まさお！」  
「がんばる～」  
「せいじ！」

「まかせちょけて、番長さん！」

「たかふみ！」

「おっけい、番長！」

「おばちゃんたちより うまい給食 つくっちゃるぜ。ふっふふふ」

【09】

「せいじ！今日の献立はどうなっちよるんけえや！？」

「え、えーっと。ピーフカレーとひじきのサラダとデザートは小郡まんじゅうとういろうです！」

「よし まさお。阿知須牛の肉もってこい！！」

「うわ～、おもいよう。番長！」

「そーれせいじ！秋穂の車エビでダシとりい！」

「さすが番長さん、あったまいいー！」

「たかふみ！かくし味は 阿東のりんごと徳地のやまのいもにしようやあ！」

「まかしちょきい、番長！」

「うおおおお！！！」

トントントントントントントン！！

番長はすさまじい勢いで いっしょうけんめい 材料を切っていきます。

【10】

「どーりあああ～～！！612人分なんて 朝飯まえっちゃ！じゃんじゃん、じゃんじゃん具を入れろっちゃー！まぜて、まぜて、ぶちまぜちやる～～！！」

「番長！かっこいいー！」

【11】

ついに 番長たちの給食が できあがりました。

みんなは とびあがって ぶちよろこんじよります。

「さあ！たべてみい」

「わーい。さすが番長！おいしそう！！」

【12】

ガッタン ガタン

あれ？あれあれ？みんなが 席をたちはじめました。

「どおしたん！？みんな！？」

番長は、あっけにとられてしまいました。

「まずい、まずいよ～」

「こんな給食なんて ぜんぶ食べられんっちゃー」

「あ～～～ん」「びえええ～～～ん」

「食べられんのか？オレたち、みんなのために いっしょうけんめい つくったっていうのに...」

【13】

下校時間をすぎて、あたりは すっかり暗くなってきました。

「こんなはずじゃなかったっちゃ...オレの好きなもの ようけ入れたのに...」

「番長さんの包丁さばきは 最高じゃったよ」  
「でも、食べてもらわんにゃ～ね...」  
「ねえ、番長。明日もやるそ～？」  
「明日かあ...」  
「おばちゃんたち...帰ってこんかね...」

【14】

日が暮れて おおなべ、食器をゴシゴシゴシゴシ。  
もう、番長たちは いまにもじらを言いそうです。  
そのとき... ガチャリ  
「やっ と わか ったん？」  
「あ！その声は！？」

「おばちゃん！」

【15】

「おばちゃんたちも みんなに 残されると悲しいっちゃ。おいしく食べてもらえるように  
まいにち いっしょうけんめい 給食をつくっちゃるんやから」  
「それにね、給食に入っちゃるのは、元気におおきゅうなるのに必要な食べものなんじゃか  
ら、みんなが残すと おばちゃんたちは 心配っちゃ...」

【16】

「そうだったんじゃあ！」  
「おばちゃん いままでごめんよ。ほんとうにありがとう」  
「ええよ、ええよ」  
「明日からは ようけ食べて おおきゅうなるんよ」  
「オイラ早くおおきゅうなって、おばちゃんのおムコさんになるけえ！」  
「まあ、番長ったら。うふふふぶふ」  
「うわあっはははははははは」  
夜の給食室に 笑い声がこだましました。

【17】

さて、つぎの日。  
1年2組の机のうえには、きれいにならんだ ぶちおいしそうな給食がいっぱい！ちゃんと  
すわかって 給食番長の合図にあわせて、お手手をあわせて、みんないっしょに  
いっただっきまーす！

